

# 暴力のない平和・平等な世界を 子どもとともに創る

この二年間のコロナ禍の中で、生活環境の悪化、不安や関係性の希薄化・困難が進行し、子ども若者の育ちを困難にしてきました。そして、2月からのロシアによるウクライナ侵攻により、安全と命を守ることが重要になってきています。大会で集い、みんなで語り考え合ひましょう。

2022年  
8月  
8日(月)  
9日(火)  
10日(水)

子どものしあわせ  
おとなもしあわせ

## 申込方法

教科研ホームページ(<https://kyoukaken.ne.jp>)の専用フォームから、お申し込みください。  
オンライン決済にて申込と入金を同時に行います。  
※オンライン申込・決済が難しい方は、Googleフォーム申込と郵貯振込もごさいます。

新型コロナウイルス感染症の感染状況が続いているため、会場型とオンライン型のハイブリッド開催を行います。

はじめの集い・4つの分科会・フォーラム・おわりの集いは会場とオンラインのハイブリッド開催です。  
分科会は基本はオンライン開催になります。

お申込みは可能な限り  
**8月5日(金)**まで  
をお願いします

- オンラインでの申し込みは大会期間中も可能です
- オンライン決済が難しい方への申込方法は教科研HPにて案内します

## Schedule

### 8/8(Mon.)

開会挨拶・基調報告	13:30~13:50
記念講演(オンライン)	14:00~15:30
はじめの集い	15:50~17:00
夜の交流会	19:00~

### 8/9(Tue.)

分科会(午前)	9:30~12:00
(午後)	13:30~17:00
夜の交流会	19:00~

### 8/10(Wed.)

フォーラム	9:30~12:00
おわりの集い	13:30~15:30

申込はこちら



## 参加費

### 全日参加

会員	4000円
非会員	4500円
学生・院生	1000円

### 1日参加

会員	1500円
非会員	2000円
学生・院生	1000円

## 会場アクセス

大東文化大学板橋キャンパス  
東京都板橋区高島平1-9-1

都営三田線西台駅から徒歩9分

東武東上線東武練馬駅からスクールバス

JR赤羽駅西口、東武東上線東武練馬駅・成増駅から路線バス



HPはこちら



会場アクセス



Day 1

8月8日(月)

# 岡野八代さん

## 子どもを大切にする社会とは？ ～ケアの倫理から考える～

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教員。

専門は、政治思想史・フェミニズム理論。

主著に『ケアするのは誰か？』（白澤社）

『戦争に抗する』（岩波書店）、『フェミニズムの政治学』（みすず書房）他



オンライン登壇です

開会挨拶・基調報告

13:30~13:50

記念講演

14:00~15:30

はじめの集い

15:50~17:00

①コロナ禍の二年間の思い

振り返りの報告・交流

②報告を受けてのコメント

③「コロナ時代の教師の仕事」

(旬報社)編著者からの報告

④大会テーマについての報告

夜の交流会

19:00~



Day 2

8月9日(火)

## 分科会の紹介

分科会  
9:30~12:00  
13:30~17:00

夜の交流会  
19:00~



分科会は、分野ごとの研究の場です。  
全国から実践や研究を持ち寄り、  
議論を深めます。

※ハイブリッド開催は 5、7、11、18 / それ以外は全てオンライン開催

- |             |             |                |
|-------------|-------------|----------------|
| ① 子どもの生活と文化 | ⑦ 社会認識と平和   | ⑬ 政治と教育        |
| ② 青年期の教育    | ⑧ 自然認識と教育   | ⑭ 性と教育         |
| ③ 能力・発達・学習  | ⑨ 道徳性の発達と教育 | ⑮ 発達障害と教育      |
| ④ 身体と教育     | ⑩ 教育課程と評価   | ⑯ 現代の子育てと親・おとな |
| ⑤ 美的能力と教育   | ⑪ 学校づくり     | ⑰ 教師の危機と希望     |
| ⑥ ことばと教育    | ⑫ 地域と教育     | ⑱ 教室と授業を語る     |

2・3・16は  
合同分科会  
です

分科会の番号



テーマ

○内容(話し合いの柱)

■世話人

### 子ども・若者と平和的に生きる権利と学びを創る

- 戦争と平和を子どもと対話してゆく学び
- 高校生と学ぶ平和・人権・多文化
- 演劇を通して大学生と沖縄戦を学ぶ

～他者に「なり」世界との接し方を変える～

■南出吉祥(岐阜) 児美川孝一郎(東京) 神代健彦(京都)  
藤澤淳(北海道) 田中孝彦(東京) 渡邊由之(大阪)

### 豊かな子ども・青年期を保障するために

○家庭・学校・地域での子ども・青年の生活文化と  
その背景にあるもの

○豊かな子ども・青年期を保障するために、  
「子どもの権利条約」に学ぶ

■泉宜宏(東京) 本庄真(奈良)

### いのち輝く「身体」～子どもの権利の保障

- GIGAスクールと子どもの身体
- 子どもとともにいのちと身体を耕す
- 子どもとともに未来を創る

■野井真吾(東京) 横田誠仁(東京)



5

### コロナ禍の中で新たな芸術教育と表現を探求する

- 新たな視点から見た芸術教育の思想  
(デューイ、北川民次を中心に)
- コロナ禍の中で模索された音楽、演劇、美術、総合的な表現等の実践

■落合利行(東京) 山田康彦(三重)

6

### 主権者を育てることばと教育の創造

- ことばの豊かな発達とコミュニケーション
- ことばを育てる国語・外国語の授業
- 生活に根ざして紡ぐ自己表現活動

■瀧口優(東京) 神郁雄(東京)



8

7

### 戦争と子ども～ウクライナ情勢と日本社会

- ロシアのウクライナ侵略とは何か
- ウクライナ侵攻と日本～政治、報道、市民
- ウクライナ侵攻を教室でどう学ぶ?
- 平和教育実践をつなげていく

■菅野真文(北海道) 一盛真(東京)

### “ココといま”から自然と数の認識指導を探る

- 自然認識過程での「深い学び」論を問い直す
- 義務教育段階での自然と数・量の認識の節目を探る
- 自然認識発達における本質的学びを創り出す

■三石初雄(東京) 大森亨(東京)

10

9

### 暴力のない学校と社会を創るための道徳教育

- 平和・教育・SDGs
- いじめ自殺をめぐる近年の動向
- 地域・場に即して学ぶことの意味(主体的参加とSDGs)
- ジェンダー平等を学ぶ高校生

■奥平康熙(東京) 櫻井歓(東京)

### 今、授業と学びの本質を問う

～現実から展望を探る

- 政府の人材養成政策による教育課程と評価の改変
- 教育のICT化にいかなる授業観をもって向き合うか
- 子どもの豊かな学びを生み出す授業と評価

■本田伊克(宮城) 桜井恵子(神奈川)

12

11

### いまを生きる子どもと共に学校をつくる

- コロナ禍の子どもと学校
- 子どもの権利、教職員の権利保障の課題
- 子ども、教職員、保護者と共同する学校づくり

■田沼朗(東京) 山沢智樹(宮城)

### <“ひとなる”ことの舞台>を共に学び合う

地域からの報告

- ほんごう子ども図書館(広島)
- ちいろば幼稚園・オリザ農園(長野)

■安藤聡彦(埼玉) 相馬直美(埼玉)

14



13

### 教育と政治を問い、主権者の育ちを考える

- 日常生活と政治
- 18歳成年年齢引き下げと教育の課題
- 若者の政治認識とその周辺(社会構造、文化、空気)を探る
- 教育政策(新学習指導要領を問う)

■中田康彦(東京) 寺尾昂浩(神奈川)

15

### 自立と共生 子どもたちの性をどう育むか

- 現代の子ども・教師と性
- 自他の大切さを学び、共に生きるために

■杉田真衣(東京) 山田真理(大阪)

17

### 「人間としての教師」の生き方を考える

- 日々の実践を交流する
- 教育の「スタンダード化」で  
学校・教師・子どもたちはどうなっていくのか
- 教師のやりがいや生きがいの源泉を考える

■山崎隆夫(東京) 佐藤隆(山梨)

18

### 子どもの理解を軸に据えた教育実践をつくる

- 発達障害等のある子どもの理解を深め、実践につなぐ
- 共に生きる主体が育つ実践をつくる

■加茂勇(新潟) 小池雄逸(東京)



### 授業を教室の外(保護者・同僚・管理職)へひらく

- 教室の授業を外へひらくとはどういうことか
- 学級通信の中の「教室と授業」
- 教師は授業の事実をどう選び取り、外へひらいているのか

■中村(新井)清二(東京) 石垣雅也(滋賀)

分科会

9:30~12:00

13:30~17:00

ハイブリッド開催は

5、7、11、18

それ以外はオンライン開催

Day 3  
8月10日(水)

教育問題フォーラム  
9:30~12:00

ハイブリッドです。

フォーラムA

### 2040年の公教育を展望する

2040年までに予測される科学技術革新、人口動態、地政学リスク、経済格差等の動向を踏まえ、「ポストGIGAスクール」の公教育課題を議論する。

■山本宏樹(東京) 堀内進之介(東京)

フォーラムB

### 勝田守一の教育学と現代

教科研初代委員長の勝田守一の教育学を現代の視点から学び、明日の教育実践の展望を開く。戦争を見つめ、子どもの幸せに応える教育を考える。

■田中孝彦(東京) 佐藤広美(東京)



フォーラムD

### 自己の育ちへの着目から 教育実践の豊かな構想へ

自己の育ちを軸とした子ども・若者理解から、教育的働きかけの中で子ども・若者理解を刷新し、どう教育構想を豊かにするか  
～特別支援と高校での実践から

■富田充保(神奈川) 菅間正道(埼玉)

フォーラムC

### 『民主主義の育て方』を読む・語り合う

教育や社会を捉えるには「理論」が必要。そして、『民主主義の育て方』は、戦後教育学の理論を平易に解説した本です。ともに読み、語り合しましょう。

■神代健彦(京都) 村角あゆみ(山梨)



### ケアと暴力

ソーシャルワーカーが会った子ども・若者をめぐる物語から、ケアという名で矮小化されたり、暴力的に奪われている子どもの権利について考え合いたい。

■荒巻りか(東京) 石本日和子(兵庫)



フォーラムE

おわりの集い  
13:30~15:30

①分科会と教育問題フォーラムの  
感想交流・共有

②若い教師たちからのメッセージ

...も予定しています!

③会場校(大東文化大学)の  
アカペラサークル「ハーモニーコリン」  
によるパフォーマンス



Memo.  
夜の交流会(8日・9日の19:00~)は、  
テーマ別のブレイクアウトルームを  
4つほど設け、ご希望のルームに入室し  
交流していただきます。

※オンライン開催です